

## 令和3年度 第1回 甲賀市国民健康保険運営協議会 議事録

1. 開催日時 令和3年9月29日（水）14:00～15:30
2. 開催場所 甲賀市役所 5階 第1・第2委員会室
3. 在任委員数 18人
4. 会議出席者 運営協議会委員 17名  
被保険者代表 : 中村委員、藤本委員、堅田委員、  
山中委員、宇田委員  
保険医、保険薬剤師代表 : 塩澤委員、浅篤委員、村木委員、  
渡邊委員  
公益代表 : 堀委員、池本委員、辻委員、  
木村委員、黄瀬委員  
被用者保険代表 : 阿部委員、佐井委員、領家委員

### 事務局

正木副市長、市民環境部 澤田部長、田中次長、  
総務部 喜多次長（税務課長）、健康福祉部 西田次長、  
保険年金課 森田課長、井口課長補佐、井上係長  
税務課 山崎課長補佐

5. 欠席委員 : 古西委員

6. 傍聴 1名

### 7. 会議次第

- 1) 開会
- 2) 市民憲章唱和
- 3) 会長あいさつ
- 4) 副市長あいさつ
- 5) 報告
  - ・令和2年度 国民健康保険特別会計決算について
  - ・甲賀市国民健康保険の状況について
  - ・令和2年度 国民健康保険税の徴収猶予及び減免について
  - ・令和3年度 保健事業の状況について
- 6) その他
- 7) 閉会

## 8. 会議の概要

(開会)

(市民憲章唱和)

会 長:あいさつ

副市長:あいさつ

委員交代の報告

(報告)

- 令和2年度 国民健康保険特別会計決算について
- 甲賀市国民健康保険の状況について
- 令和2年度 国民健康保険税の徴収猶予及び減免について
- 令和3年度 保健事業の状況について

会 長：一括して事務局から説明をお願いします。

事務局：資料説明（資料1、2、3、4）

会 長：意見や質問はないか。

委 員：資料1について、基金繰入金はいくらか。歳入の繰入金に含まれているのか。

事務局：基金は1億1千965万4000円を取り崩し、歳入の繰入金に含まれている。

委 員：資料4の重複頻回受診者等に対する訪問指導は、国保の事業か、市事業か。

事務局：国保の方が対象であり、国民健康保険団体連合会との共同事業で市で実施している。

委 員：医療機関で尿検査等を受けた者は、医療機関から検査結果の情報提供をすれば特定健康診査を受診したことになるのか。また、情報提供することにより尿検査等は無料か。

事務局：特定健康診査として受診した場合、尿検査は診査の項目にあるので無料であるが、別途診察を受けて検査した場合は有料になる。情報提供があれば特定健康診査を受診したことにはなるが、治療中患者情報の提供だけでは医療費は発生する。

委員：資料3の国民健康保険税の減免について、件数は申請のあった方だけか。新型コロナウイルスに感染した人に対して情報提供はあるのか。

事務局：件数については、減免についての問い合わせがあった件数である。新型コロナウイルスに感染した全ての方が対象となるわけではなく、収入が3割以上減少という条件もあるので、対象とならない場合もある。前年収入額の3割以上の減少が対象となるので、昨年より件数は少ないが今年度も通知を出し、減免等について広く知っていただけるようにしている。

委員：資料2の一人あたり医療費について、甲賀市の令和2年度はどうか。

事務局：令和2年度の市の一人あたり医療費は404,271円で医療費は増えている。県内の状況は、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えにより減っている。甲賀市ではレセプト件数は減っているが、医療費は+0.5%となっている。目立ったところでは、がん患者の医療費が伸びている。男性のがんのレセプト点数が、令和元年度が270万点のところ令和2年度は3500万点に増えている。また、件数も増えていることに伴い、医療費や調剤が増えている。

委員：資料4のジェネリック医薬品差額通知について、何人くらいに通知し、いくらかかっているのか。

事務局：令和2年度の実績は、7月に392通、1月に363通、合計755通で、46,000円程度の郵送料がかかっている。

委員：国保全員ではなく700人分くらいしか出していない。少ないように思うがどのように選別しているのか。

事務局：全員に通知しているのではなく、差額が一定額以上、一定期間投与があるなどの基準に基づき抽出し送っている。

委員：協会けんぽでは、慢性生活習慣病で数か月医療機関にかかっている、先発薬を使っている方を抽出しており、効果がより出るような方に送っている。

委員：ジェネリックは本当によいのか。お金の問題だけですすすめるのはどうか。

事務局：医療費を抑えるということもあるので、ジェネリックをすすめている。  
安全性について意見をいただいたので、県内市町連携会議等で伝えていきたい。

委員：ジェネリックの流通事情が悪く、ジェネリックが用意できないので先発薬にしている時がある。ジェネリックが安くて悪いわけではない。8割前後の人がジェネリックを選ばれている状況である。  
長期間先発薬を使用している方を抽出し、送っているのであれば、このような軽減効果額にしかならないかもしれないが、ジェネリックが用意できない時もあるということを情報提供しておく。

会長：ジェネリックについては何度か協議してきたと思うが、ジェネリックを使ってもらえるよう、パンフレットの配布等をお願いする。

委員：一人あたり医療費の伸び率が増加している原因が男性のがんの増加ということだが、甲賀市だけのものだとすると由々しきことである。分析はしているのか。

事務局：医療費の分析については、レセプト管理をしている国民健康保険団体連合会で行っており、連合会からの情報により男性のがんを挙げたが、限定的であるため連合会で更に詳細な分析を進めてもらうよう依頼している。

委員：資料4の健康診査受診動機付け事業（スマホでドック）や重複頻回受診者等に対する訪問指導、糖尿病性腎症重症化予防事業の件数が少なく十分ではないように思うが、保健師等職員がコロナワクチン接種等でマンパワーがとられているなどの背景があるのか。

事務局：コロナの影響ということではなく、昨年も同じような件数である。  
職員の確保は非常に難しい状況ではあるが、進めていきたいと思っている。

事務局：がん検診を行っている中で、昨年度、がんが多く見つかったということではなく、例年の件数くらいが見つかる状況なので、なぜ男性のがん患者が多くなっているのか国民健康保険団体連合会に確認し対応していきたい。

会 長：報告事項以外でもよいので意見はないか。

委 員：協会けんぽは、無料健診等を甲賀市と一緒にしているが、特定健診の件数を伸ばしていきたいので、お互いの取り組みが今後もできるよう引き続きよろしくをお願いしたい。

委 員：以前は健康推進員が、がん検診等の受付をしていたが現在どうか。

事務局：現在は、健康推進員の活動の中で、がん検診の啓発に尽力いただいている。受付は職員か業者で対応している。

会 長：他に意見はないか。

(意見なし)

会長代理：閉会あいさつ